



ちばの学童保育

2013年 5月19日発行96号

本号の紙面	
全国学童保育指導員学校案内	1頁
情勢／ほいく誌紹介	2頁
学童保育所／学ほ誌活動感想	3頁
千葉県連総会 他案内	4頁

発行者 千葉県学童保育連絡協議会 船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内
 TEL047-424-8102 FAX047-424-8108 e-mail chibagakudo@nifty.com

開催決定!

第38回 全国学童保育指導員学校 南関東会場

日時：2013年6月2日(日) 午前10時～午後4時

場所：大東文化大学板橋キャンパス(東京都板橋区)

全体講義「子どもを理解することが仕事、ゆらぐことも仕事」

講師 垣内国光(明星大学教授)

受講料：2,000円 申込み締切 5月24日(金)

午後は、20講座を予定しています。入門講座から理論講座や実践講座、実技講座もあります。

<p>入門講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学童保育とは何か、指導員の仕事・役割は何か ・ 学童保育の生活で大切にしたいこと ・ 学童保育の一日と指導員の仕事・毎日の仕事 	<p>理論講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学童保育の生活とあそび ・ 教室の子どもたち ・ 発達障害のある子どもたちの理解と支援 ・ 子どもの発達のしくみを学ぶ ・ ・ 子どもとの関わり方～カウンセリングの手法から～ ・ 学童保育での子どもの人権
<p>実践講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの生活を保護者と伝え合う ・ 配慮を必要とする子を含めた生活づくり ・ 高学年を含めた生活づくり ・ 学童保育における安全を考える ・ 子どもたちの生活と保育計画 ・ 学童保育のおやつ ・ 日々の記録から実践の記録へ ・ 指導員のチームワーク・職場づくり 	<p>実技講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いっしょにあそぼう ・ つくってあそぼう <p>特別講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学童保育と指導員をめぐる情勢と課題

皆さんの参加をお待ちしています。

詳細はパンフレットをご覧ください。



学童保育をめぐる最近の動き



4月26日、国の「第1回子ども子育て会議」が開かれました。

今後の策定のスケジュールとして「基本指針の概要」には、次のように示されています。

- ・「基本指針」は、今年の夏頃に「基本指針案」を示す
- ・今年の夏以降に「市町村において利用希望の調査を実施」
- ・来年度前半に都道府県事業計画案、市町村事業計画案をとりまとめる

事業計画は、「量の見込み」「確保の内容」「実施時期」を記載することが必要だとされていて「質の確保」については、事業計画に盛り込むことになっていませんでした。

また第1回子ども・子育て会議での政府の説明のなかに、学童保育の基準は社会保障審議会児童部会を中心に検討していくという説明がありました。同時に社会保障審議会児童部会の下に「放課後児童クラブの基準に関する専門委員会」(仮称)をつくり、検討していくとの説明があったようです。

社会保障審議会児童部会は5月20日に開催され、そこで専門委員会をつくることが承認されて、検討が始められるとのことでした。早ければ5月中にも専門委員会が開かれる可能性があります。これにより地方版子ども・子育て会議にも学童保育に関する議論がなされるか大きく影響されることが予想されます。今後とも各市町村の動きや考え方を確認して行く事が重要です。

日本の学童ほいく

日本で唯一の学童保育に関する専門誌です。月刊で発行。1冊330円(送料76円)でお届けします。

学童保育に関するありとあらゆる情報が満載。全国で4万人の人が購読しています。



5月号表紙

5月号特集『「れんらくきょうざかい」ってなんですか?』です。皆さんにもぜひ読んでもらいたい1冊になっています。

- 今回の特集は「れんらくきょうざかい」ってなんですか?です。学童へ入所をしたら「父母会」があって、何だかわからないうちに「連絡協議会の会議」にも出席するはめになった。父母会もないし、連絡協議会なんて知らない。連絡協議会に加盟してるけど、何してるの?なにが良いの?等々、「連絡協議会」を知っている人も知らない人も、編集部『「れんらくきょうざかい」とは...』からはじめ、それぞれの連絡協議会との関わりの体験談を感じてみましょう。



わたしたちの学童保育所

船橋市の学童保育所

船橋市の学童保育は、35 年余に及ぶ地域運営委員会委託方式(実質的な父母会運営)時代を経て、2000 年(平成 12 年)に公設公営事業として再スタートを切りました。公設以降急速に設置がすすみ、36 カ所・児童約 1,800 人から、現在 54 小学校に 74 施設・児童約 4,000 人へと大きく発展しました。

市が直接責任を持つという枠組みの上に、保護者、指導員の改善運動が果たした結果です。

しかし、未だに待機児童が生まれていること、ぎゅうぎゅう詰めの生活環境、指導員の不足や4年程度という平均的勤続年数の低さなど、他の市と同じような問題をかかえています。

行政が全面的に事業の責任を負う形態が故に、保護者が「お任せ」的な状況になってしまう面は否めません。その上、保育園と違って子どもの送り迎えをしなくて済むことで、学童保育の様子や指導員との関係性がどうしても薄くなりがちです。

市連協は「がくどうまつり」「学童キャンプ」など親子で楽しめる行事を企画したり、「担当課懇談会」「入所を希望する保護者に向けた説明会」、メールやフェイスブックなどのネットツールを駆使して父母会、保護者同士がつながりあう工夫をするなど、公設公営での運動を模索しています。

「できる人が、できることを、結果を恐れずとにかくやってみる」をモットーにがんばっています。



「日本の学童ほいく」活動・感想

八千代市 うちゅうクラブ
指導員 鈴木美加

日本の学童ほいく誌は、指導員会を5つのブロックに分けたブロック研修として毎月取り組んだり、ほいく誌のモニター担当を決めて取り組んでいます。

また、子どもの広場の投稿を子どもたちがしてくれました。

2013年3月号には、昨年連載にもなっていた天体ショーを観察した様子を2年生の女の子が漫画にしてくれています。保育時間中にみんなで国際宇宙ステーションが夜空に突如として現れ、1分間で消えていくという思い出の瞬間です。お迎えのお母さんたちも一緒に、夜空を見上げました。6月号では、カラービニール袋を使った手作りの凧を作ったことを当時2年生の女の子の投稿が掲載される予定です。子どもたちは、玄関先に置いてある保護者会が購入しているほいく誌を手に取り、子どもの広場を読んで楽しみにしています。

第48回 全国学童保育研究集会

in 岡山

2013年10月5日(土) 桃太郎アリーナ

6日(日) 岡山大学

「全国学童保育研究集会」通称「全国研(ぜんこくけん)」。全国研は、学童保育をよくしたい、知りたいと願う保護者と指導員、学童保育関係者が、全国から集まり、学びあい、交流する集会です。毎年、全国各地をまわり開催され、今年は岡山県で48回目を迎えます。

1日目は全体会。大きな会場に参加者全員が集まり、基調報告や記念講演を聴くことができます。まず会場に入ると人の多さにビックリします。「こんなに学童保育の関係者がいるんだあ」と、あらためて学童保育所とは全国にあることを実感します。2日目は分科会。30分科会近い数もあり、興味のある講座に自由に参加することができます。分科会は「基礎講座」「運動を交流する分科会」「講義と交流の分科会」などさまざまです。学童保育活動のことや、指導員の仕事や課題、子どもの発達、子育て、自治課題等、本当に多岐にわたります。学童保育をよく知らない人から、毎年参加し活動を続ける人まで、保護者や指導員すべての学童保育関係者が参加できる内容です。ちょっと遠いかな。そんな不安もあるかもしれませんが、しかし、まだ5ヶ月ほどあるので、今から仲間と一緒に準備をはじめましょう。ちょっと旅行気分、仲間と一緒に試してみるのも楽しいものです。仲間がいなければ、全国研をきっかけに声をかけ仲間づくりをはじめても良いでしょう。そんな「きっかけづくり」ができるのも全国研の魅力の一つなのです。

総会のご案内

2013年6月30日(日) 12:30~16:30 (休憩あり)

船橋市中央公民館 第3集会室

「連絡協議会ってなに？」をテーマにしながら、新年度での地域交流や子ども・子育て関連三法についても話します。詳細はご案内をご覧ください。